

「さわやかバス」利用客へのアンケート

1. 調査の実施概要

このアンケートの概要は以下の通りです。

【対象】

- ・「さわやかバス」を利用する人

【調査期間】

- ・令和7年8月

【調査方法】

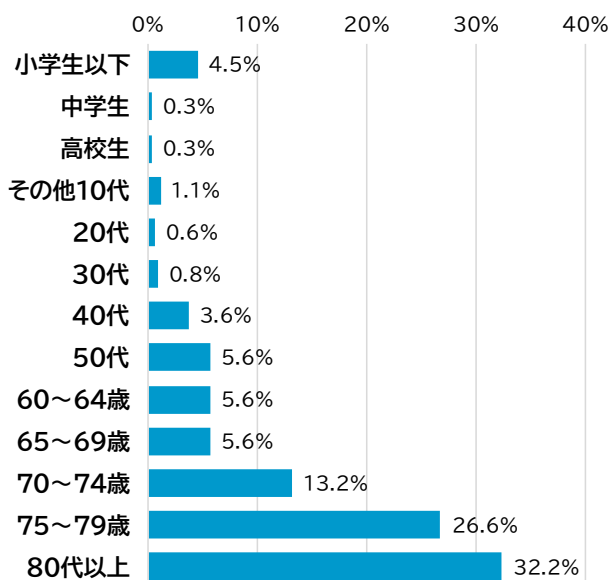
- ・バス車内、主要施設に、アンケート票および回収箱を据え置き

【回答者数】

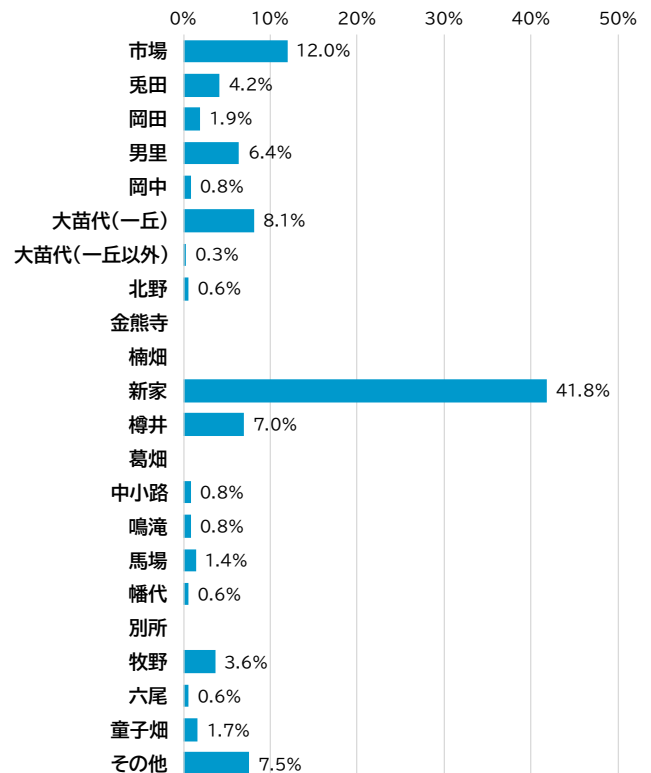
- ・363名（車内138名、その他施設225名）

(回答者の年代・居住地)

年齢



お住まい



(*) このアンケートは、さわやかバスの利用客の“生の声”を把握することを主目的として行いましたが、後述の通り、「ほとんど利用していない」という人も回答者に一部含まれています。(また、回答者の居住地が偏っている可能性もあります。)

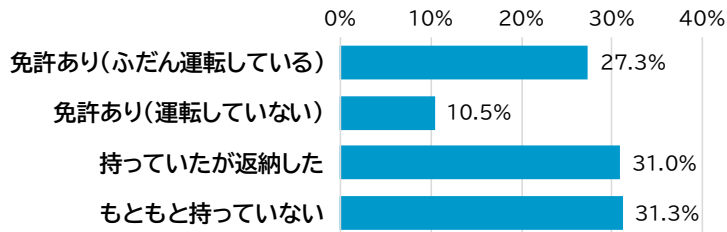
2. 主な調査結果

2-1 このアンケートの回答者について

(1) 運転免許の保有状況

- 運転免許を持っていない、または運転しないという人が回答者の約 7 割を占めており、さわやかバスが、主にクルマを使わない人に利用されている(クルマを使う人には、あまり利用されていない)状況と見受けられます。

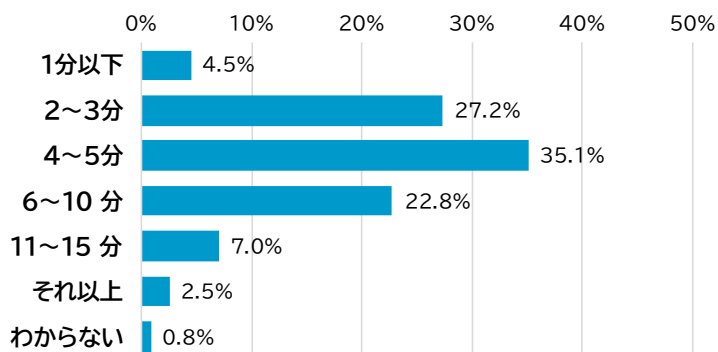
運転免許の有無



(2) 最寄りバス停までの所要時間について

- 自宅から最寄り駅まで、歩いて 4~5分(約 300m)という人が中心となっていますが、6~10分(500~800m程度)という人も比較的多くなっています。

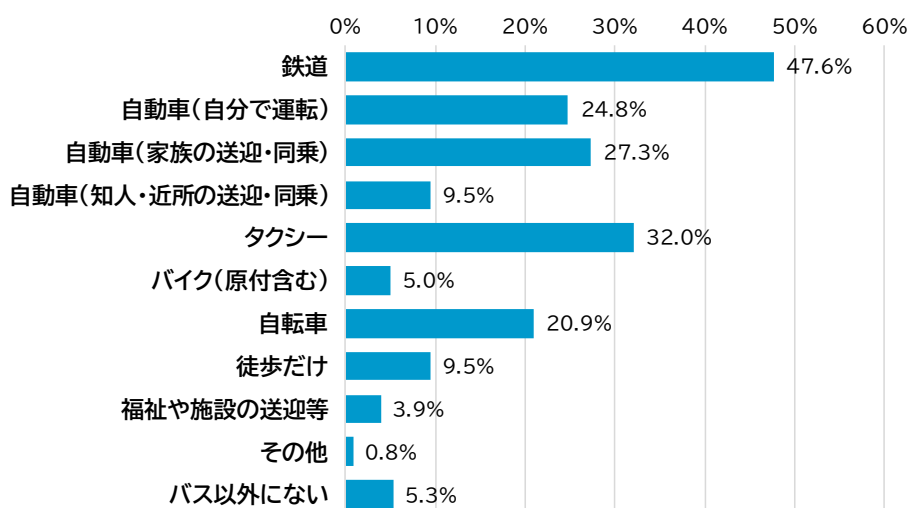
自宅から最寄りバス停までの所要時間 (徒歩による時間)



(3) バス以外で利用できる外出手段について

- バス以外に使える外出手段としては、鉄道が最も多く、その他では自動車(自分で運転)、自動車(家族の送迎・同乗)、タクシー、自転車それぞれ2~3割程度となっています。
- バス以外に外出手段がないという人は少数となっています。

バス以外で利用できる外出手段

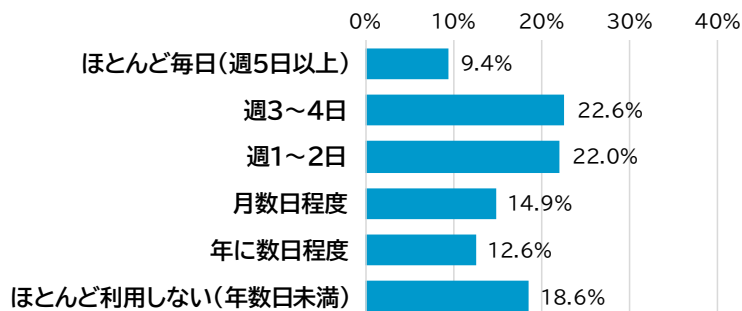


2-2 「さわやかバス」の利用状況について

(1) 利用頻度

- このアンケートの回答者の中では、週に1日以上「さわやかバス」をする人は5割強です。一方、ほとんど利用しないという人が2割程度おられます。

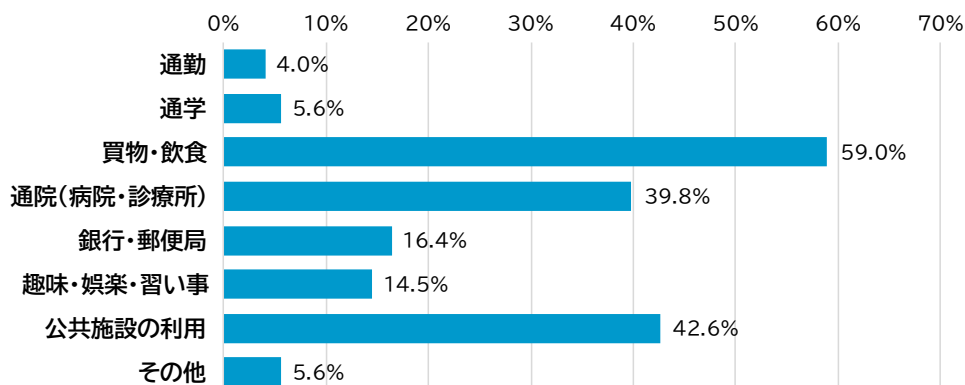
さわやかバスの利用頻度



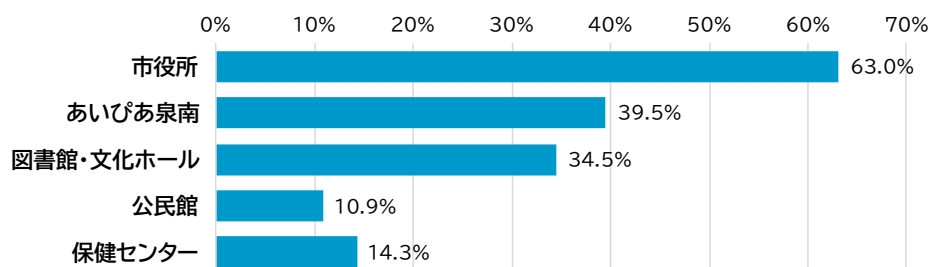
(2) 「さわやかバス」を利用する外出の目的

- 「さわやかバス」利用時の外出目的については、買物・飲食が最も多く、次いで、公共施設の利用、通院が多くなっています。通勤・通学で利用する人は少数です。
- 利用時の外出目的が「公共施設の利用」という人の利用施設は、市役所が最も多くなっています。

さわやかバス利用時の外出目的



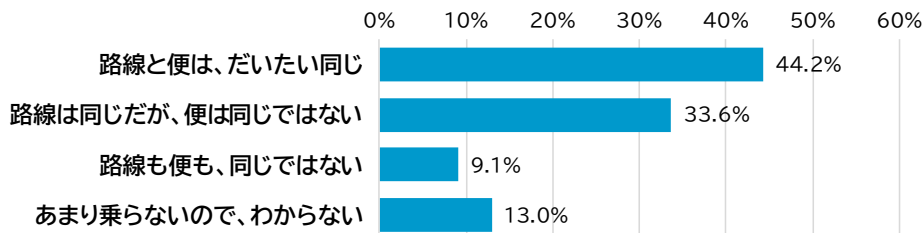
利用する公共施設 (「公共施設の利用」との回答者)



(3) 利用する路線や便について

- 利用する「さわやかバス」の路線や便がいつもだいたい同じかどうかたずねたところ、路線が同じという人が計8割近くを占めており、決まった路線しか使わない人が多い状況がうかがえます。

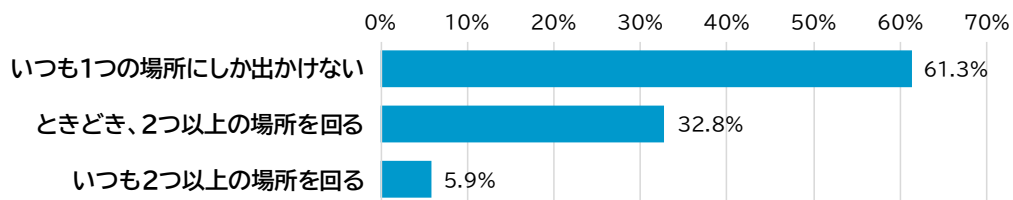
利用するさわやかバスの路線・便はいつも同じか



(4) 同じ利用日に出かける場所の数

- 「さわやかバス」を利用する際、「いつも1つの場所にしか出かけない」という人は6割程度を占めていますが、「2つ以上の場所を回る」という人が計4割程度で比較的多くなっています。

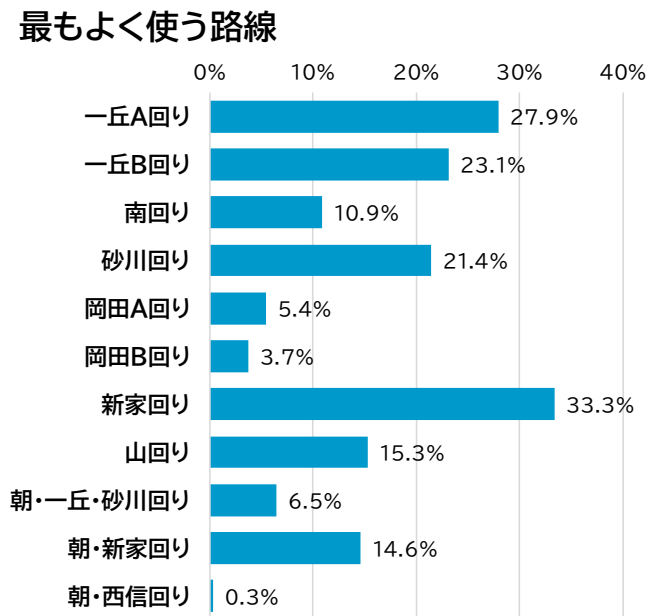
さわやかバスで同じ日に複数の場所を回ることもあるか



(5) 最もよく使う「さわやかバス」について

・最もよく使う路線

●このアンケートの回答者が、最もよく使う路線は、「新家回り」が最も多く、次いで「一丘 A 回り」、「一丘 B 回り」、「砂川回り」などが多くなっています。



・最もよく使うバス停

●最もよく使う行先側のバス停は、イオンモールりんくう泉南が突出して多くなっています。その他では、主に鉄道駅や公共施設の最寄り停留所が多くなっています。

【利用が多い目的地側の停留所（上位）】

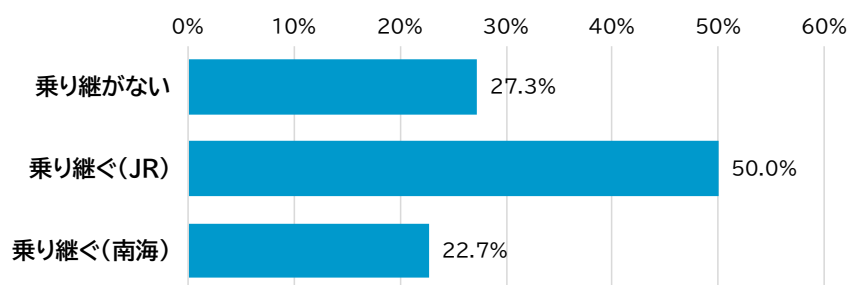
（*この設問は記述式であり無回答や不明な回答が多数ありました。）

- ・イオンモールりんくう泉南（特に多い）
- ・砂川駅前
- ・泉南市役所前
- ・樽井駅前
- ・総合福祉センター
- ・東小学校前
- ・JR 新家駅前
- ・図書館文化ホール前
- ・砂川北
- ・砂川駅前通り

・鉄道への乗り継ぎ

- 最もよく乗降する行先側の停留所が鉄道駅である回答者に、鉄道への乗り継ぎの有無をたずねたところ、乗り継ぐ人が約 7 割で多い一方、乗り継がない人も約3割を占めており、駅ではなく近傍の施設等の利用が目的である人もいる状況と見受けられます。

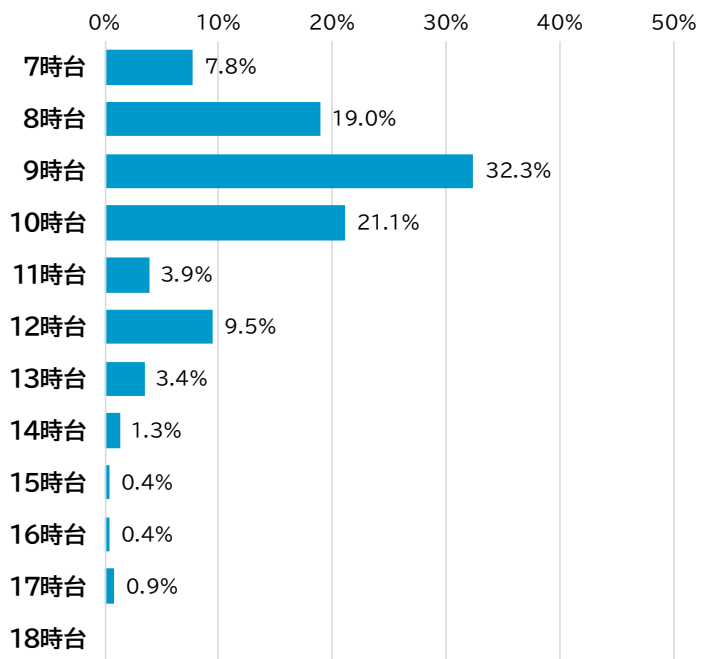
鉄道への乗り継ぎの有無 (* 最もよく乗降する行先側のバス停が鉄道駅の回答者について集計)



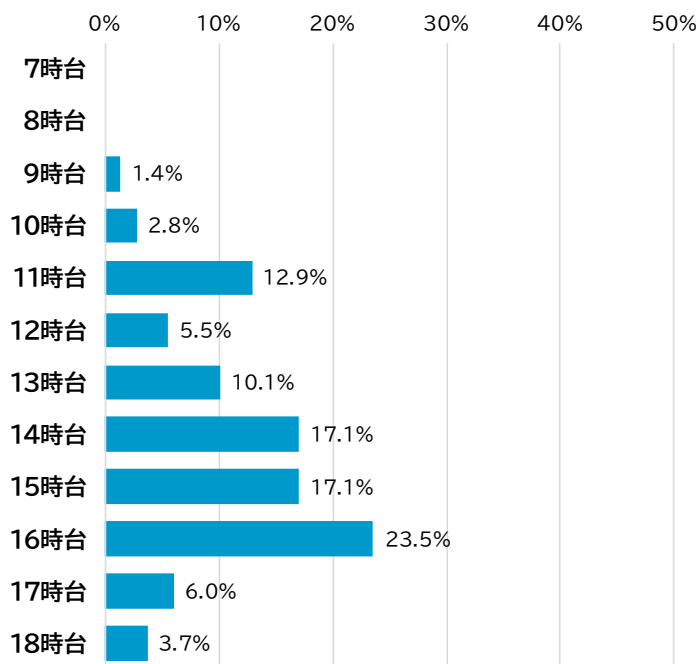
・利用する時間帯

- 「さわやかバス」を最も利用する時間帯については、行きは 8～10 時台等の午前が中心、帰りは 14～16 時台等の午後が中心となっています。

さわやかバスを最もよく利用する時間帯(行き)



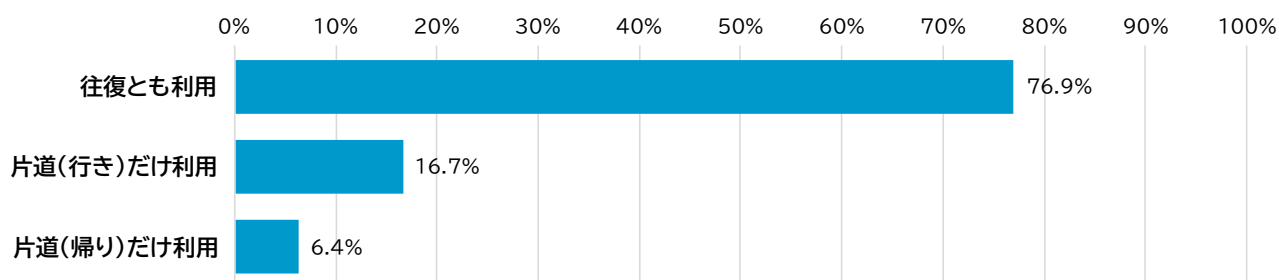
さわやかバスを最もよく利用する時間帯(帰り)



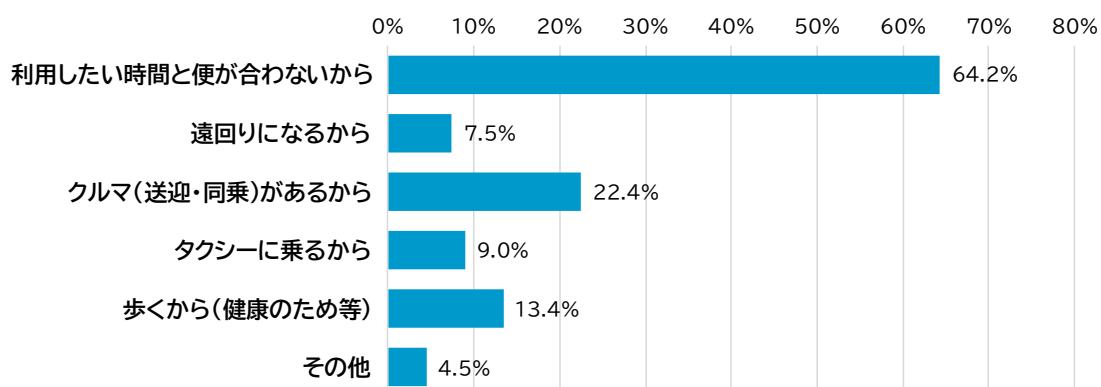
・往復利用の有無

- さわやかバスの利用の際、往復とも利用するという人が大半であり、片道だけ利用するという人は少数です。
- 片道だけ利用するという人の理由は、「利用したい時間と便が合わない」が最も多く、次いで「クルマ(送迎・同乗)があるから」が多くなっています。(これらはいずれも、クルマなどバス以外の手段がある人の回答であるものと推察されます。)

さわやかバスの往復利用の有無



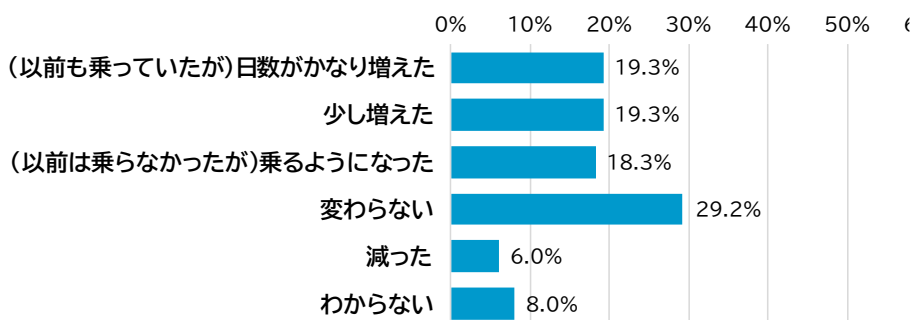
片道だけ利用する理由 (* 片道だけ利用する回答者について集計)



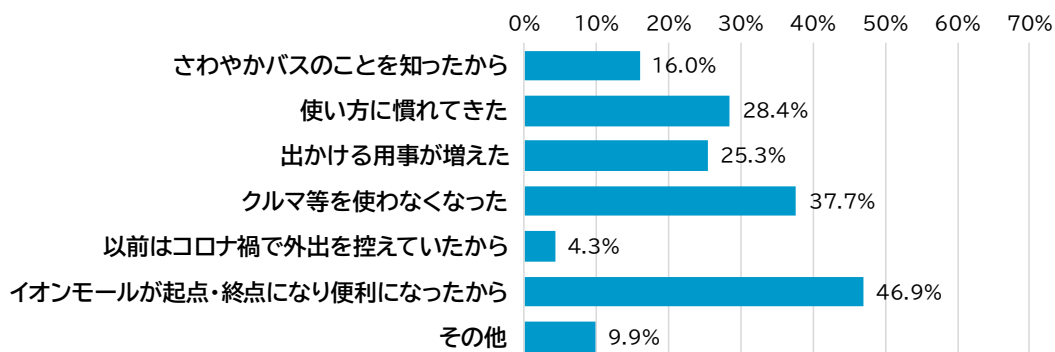
(6) 3年前からの利用日数の変化について

- さわやかバスが、3年前に現在の運行ダイヤになった以降の、利用日数の変化をたずねたところ、増えたという人が計6割近くおられます。一方、変わらないという人が約3割で最も多くなっています。
- 増えた人の理由は、「イオンモールが起点・終点になったから」が最も多くなっています。その他では、「クルマ等を使わなくなった」、「慣れてきた」、「出かける用事が増えた」という理由も多くなっています。

現行ダイヤとなってからの、さわやかバス利用日数の変化



さわやかバスの利用が増えた理由 (* 利用が増えた、または乗るようになった回答者について集計)

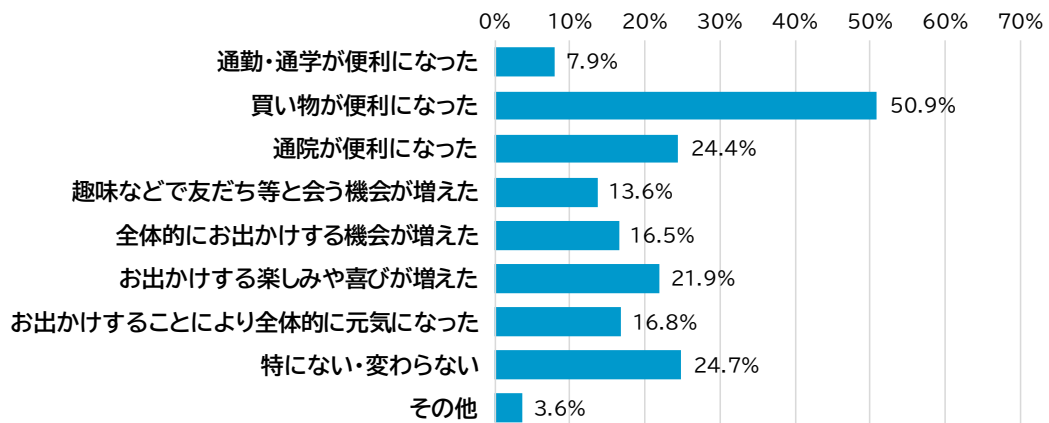


(7) 「さわやかバス」を利用し始めたことによる暮らしの変化について

●さわやかバスの利用による暮らしの変化について、「買い物が便利になった」という人が半数程度で最も多く、次いで「通院が便利になった」、「お出かけする楽しみや喜びが増えた」等が多くなっています。

一方、「特にない・変わらない」という人も2割程度おられます。

さわやかバスの利用による暮らしの変化

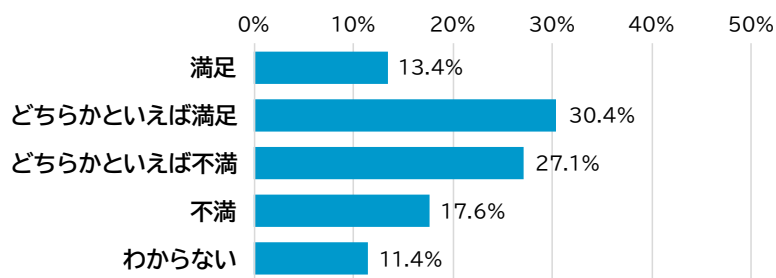


2 - 3 「さわやかバス」についての考え

(1) 「さわやかバス」の満足度について

- さわやかバスの全体的な満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」との回答と、「不満」「どちらかといえば不満」との回答が同程度となっています。

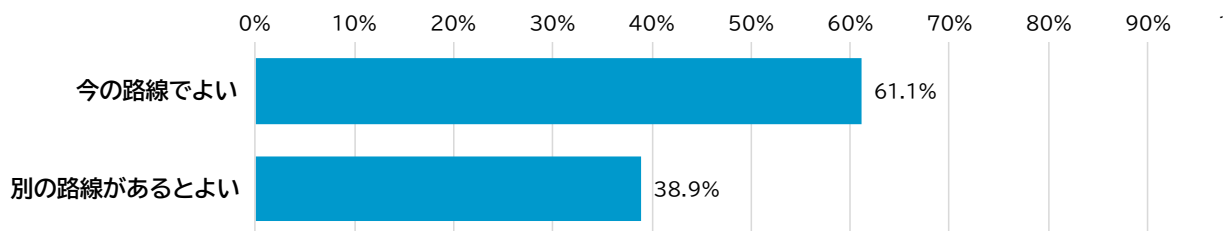
さわやかバスの全体的な満足度



(2) 「さわやかバス」への希望について

- 路線については、今の路線でよいという人が約6割を占めています。「別の路線があるとよい」という人は約4割です。
- 便数については、「便数を増やしてほしい」という人が、約8割を占めています。(便数に関しては、多ければ多いほどよいという意図での回答もあると想定されます。)
- 運行時間帯については、「今の時間帯でよい」という人が4割弱、「もっと短くてもよい」という人も2割弱おられます。(これらは、現在の運行時間帯で十分であるという意見です。)一方、早い時間帯、遅い時間帯を希望する人はそれぞれ1割弱となっています。

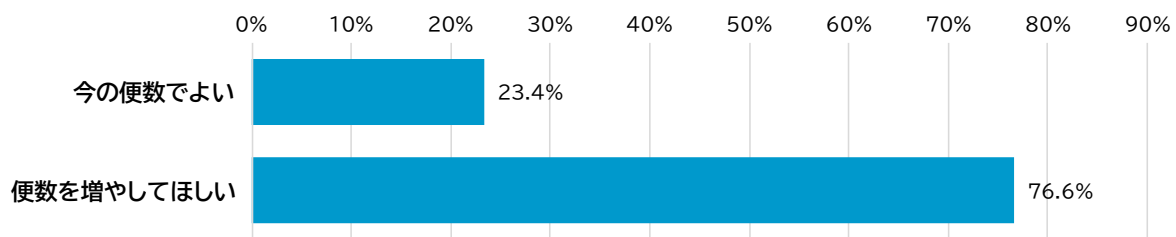
路線についてのお考え



(参考) 具体的な記述のあった主な行先 (記述した回答者は少数)

- ・新家駅 (多数)
- ・図書館、文化ホール
- ・吉見ノ里駅
- ・デイリーカーナート新家店 等

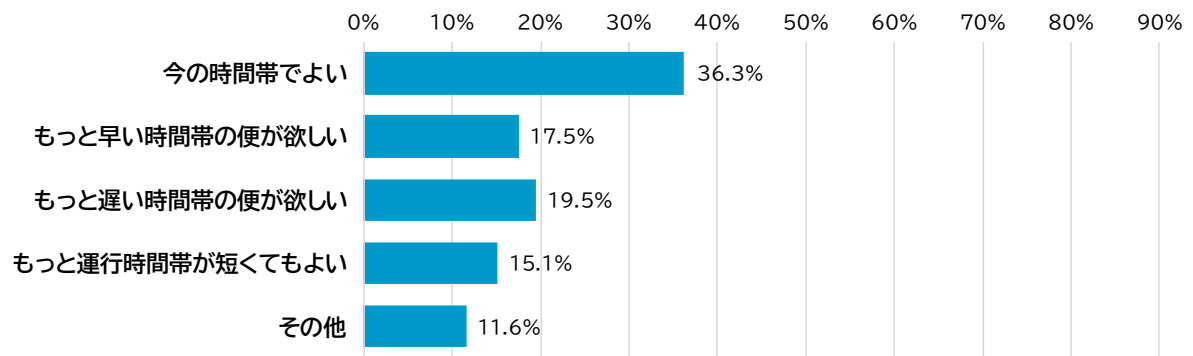
便数についてのお考え



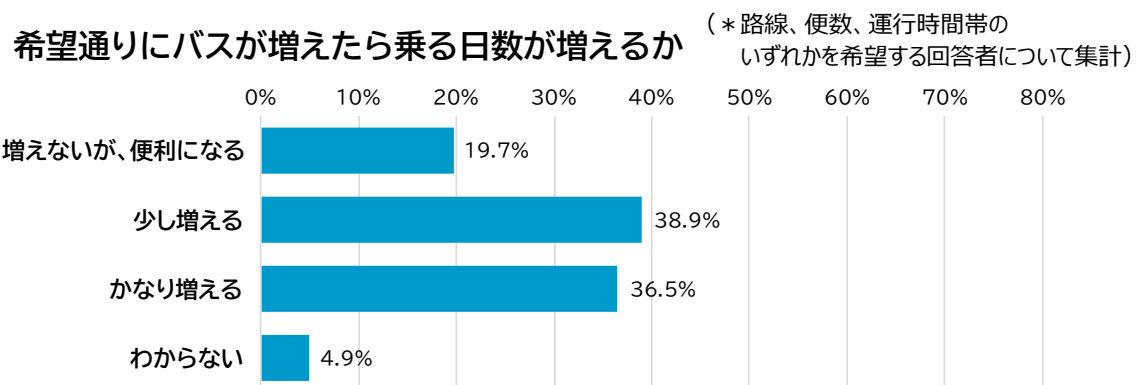
(参考) 具体的な記述のあった主な路線、時間帯 (記述した回答者は少数)

- ・新家回り (13 時台を中心に多数)
- ・一丘 A、B 回り (13 時台を中心に多数)
- ・砂川回り (各時間帯)
- ・山回り (13 時台を中心とした各時間帯) 等

運行時間帯についてのお考え



●路線、便数、運行時間帯のいずれかを希望した人に、希望が実現した場合の利用意向をたずねたところ、「かなり増える」という人は4割弱にとどまっており、「少し増える」、「増えない」、「わからない」が、計6割程度を占めています。

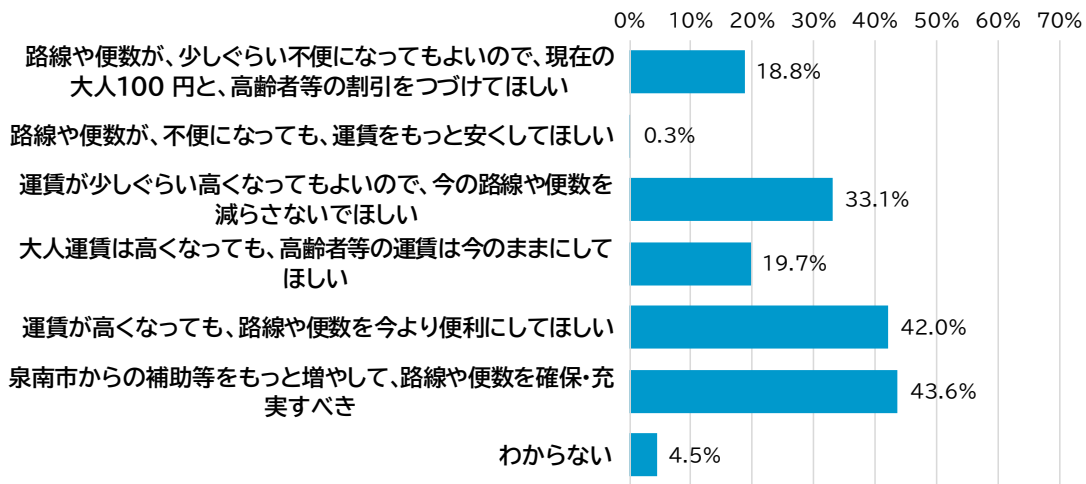


(3) 「さわやかバス」に関する今後の考えについて

・収支状況について

●さわやかバスが、運賃収入だけでは運行経費をまかなえず、市が補助金を交付している現状に関して、考えをたずねたところ、「市の補助等を増やして、確保・充実すべき」、「高くなっても、便利にしてほしい」との回答が多くなっていますが、いずれも半数以下です。その他にも様々な考えがある状況ですが、「不便なっても、安くしてほしい」との回答は僅少です。

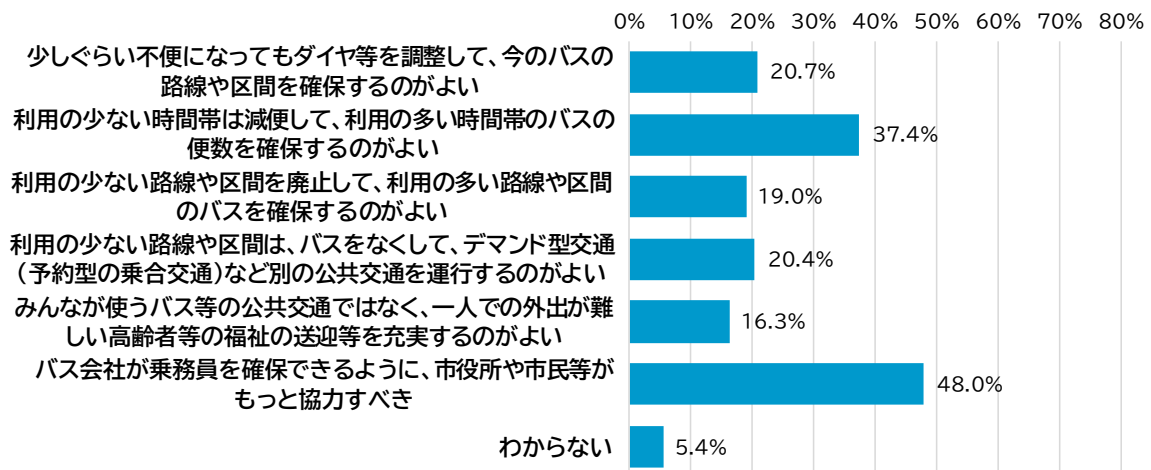
運行経費をとりまく現状に関するお考え



・バスの乗務員不足について

●全国的に乗務員不足が深刻になっており、減便、廃止となる路線がある現状に関して、考えをたずねたところ、「乗務員を確保できるように、市役所や市民等がもっと協力すべき」、次いで「利用の少ない時間帯は減便して、利用の多い時間帯のバスの便数を確保するのがよい」との回答が多くなっていますが、いずれも半数以下です。その他にも様々な考えがあります。

乗務員不足をとりまく現状に関するお考え



(その他、具体的な記述のあった主な内容) * 記述した回答者は半数程度でした。

- ・バスの便数を増やしてほしい (多数)
- ・バスの方面についての要望
- ・停留所設置についての要望
- ・バスの混雑について
- ・目的地まで時間がかかる
- ・デマンド型交通や乗合タクシーなど、別の公共交通がほしい
- ・運転手の対応について 等

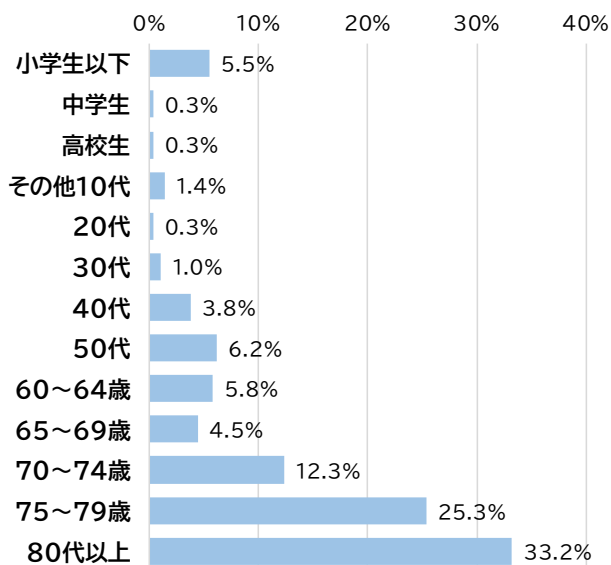
3. 主な調査結果（ほとんど利用していない回答者を除く集計）

【回答者数】

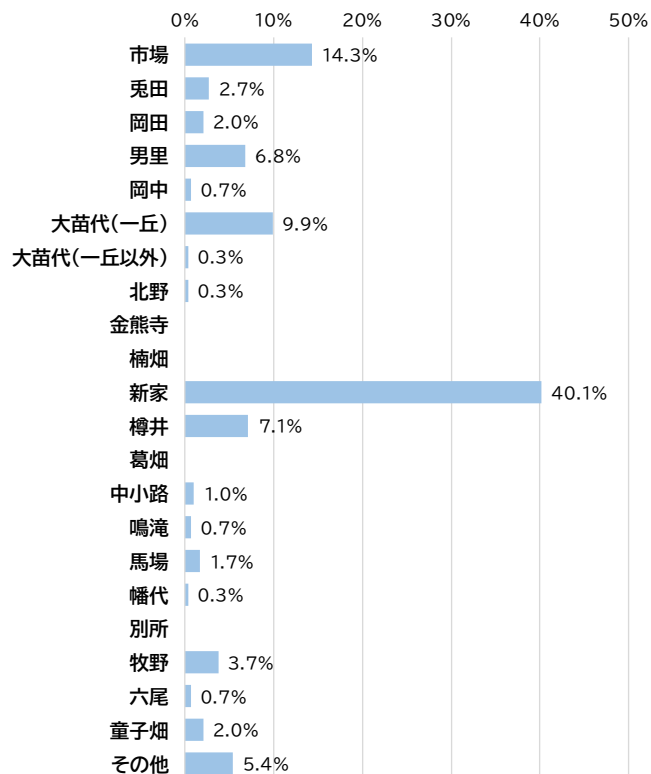
・298名（車内138名、その他施設160名）

（回答者の年代・居住地）

年齢



お住まい



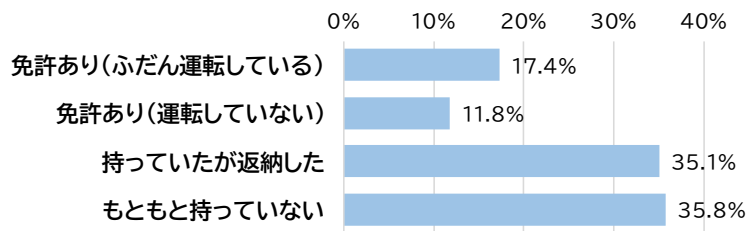
（*）回答者の居住地が偏っている可能性があります。

3-1 このアンケートの回答者について

(1) 運転免許の保有状況

- 運転免許を持っていない、または運転しないという人が回答者の計 8 割程度を占めており、さわやかバスが、主にクルマを使わない人に利用されている(クルマを使う人には、あまり利用されていない)状況と見受けられます。

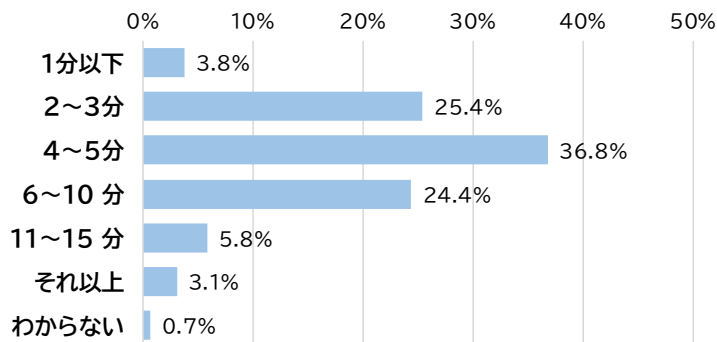
運転免許の有無



(2) 最寄りバス停までの所要時間について

- 自宅から最寄り駅まで、歩いて 4~5分(約 300m)という人が中心となっていますが、6~10分(500~800m程度)という人も比較的多くなっています。

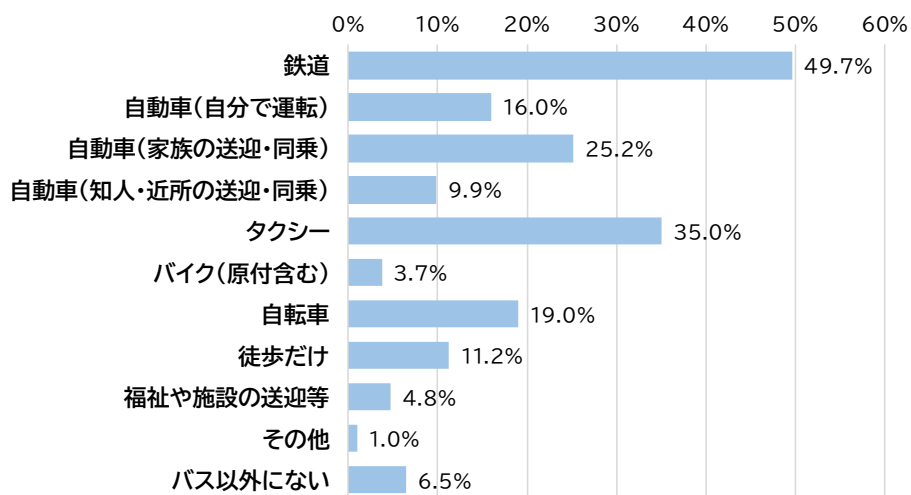
自宅から最寄りバス停までの所要時間 (徒歩による時間)



(3) バス以外で利用できる外出手段について

- バス以外に使える外出手段としては、鉄道が最も多く、その他では自動車(家族の送迎・同乗)、タクシー、自転車が多くなっています。
- バス以外に外出手段がないという人は少数となっています。

バス以外で利用できる外出手段

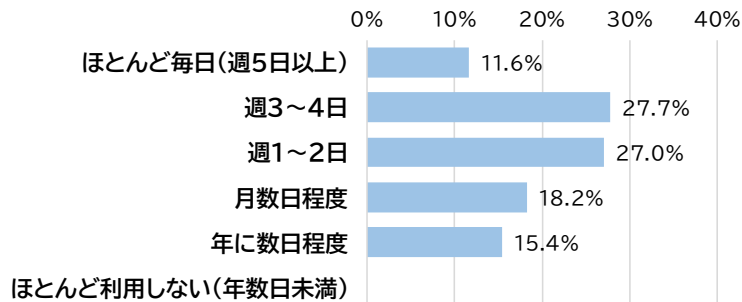


3-2 「さわやかバス」の利用状況について

(1) 利用頻度

- このアンケートの回答者(ほとんど利用しないという人を除く)の中では、週に1日以上「さわやかバス」をする人は7割近くを占めています。

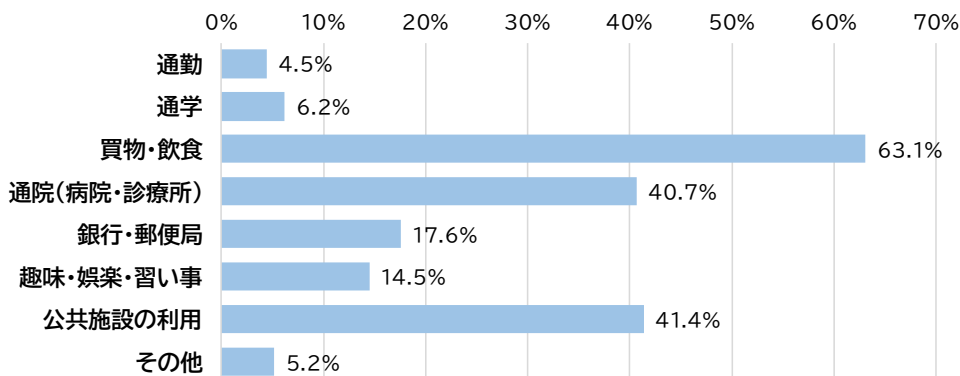
さわやかバスの利用頻度



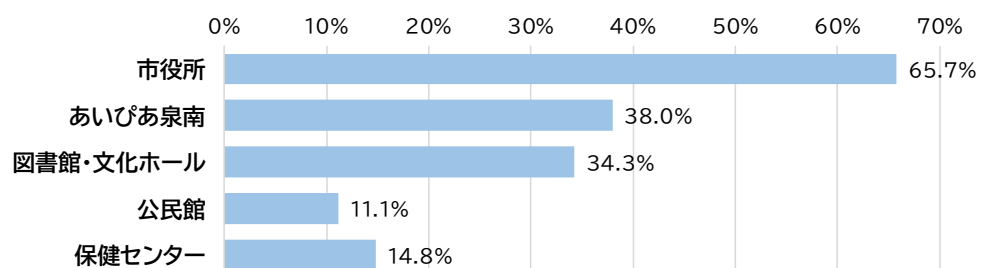
(2) 「さわやかバス」を利用する外出の目的

- 「さわやかバス」利用時の外出目的については、買物・飲食が最も多く、次いで、公共施設の利用、通院が多くなっています。通勤・通学で利用する人は少数です。
- 利用時の外出目的が「公共施設の利用」という人の利用施設は、市役所が最も多くなっています。

さわやかバス利用時の外出目的



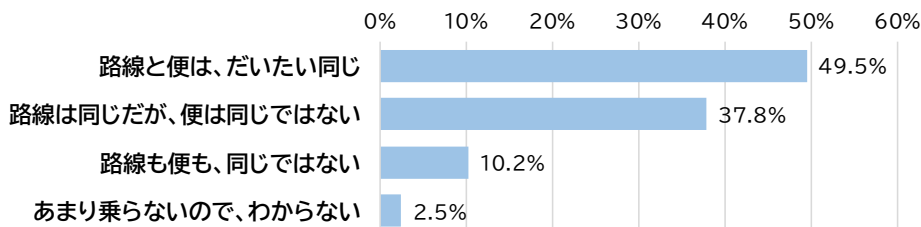
利用する公共施設 (「公共施設の利用」との回答者)



(3) 利用する路線や便について

- 利用する「さわやかバス」の路線や便がいつもだいたい同じかどうかたずねたところ、路線が同じという人が計9割近くを占めており、決まった路線しか使わない人が多い状況がうかがえます。

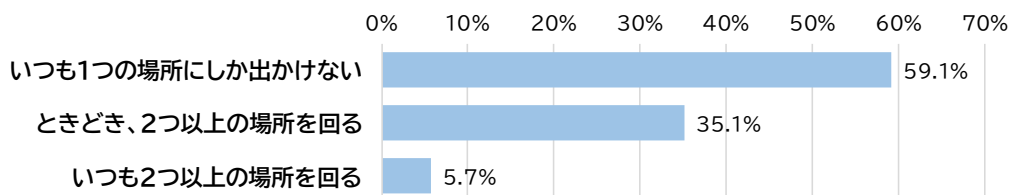
利用するさわやかバスの路線・便はいつも同じか



(4) 同じ利用日に出かける場所の数

- 「さわやかバス」を利用する際、「いつも1つの場所にしか出かけない」という人は6割程度を占めていますが、「2つ以上の場所を回る」という人が計4割程度で比較的多くなっています。

さわやかバスで同じ日に複数の場所を回ることがあるか

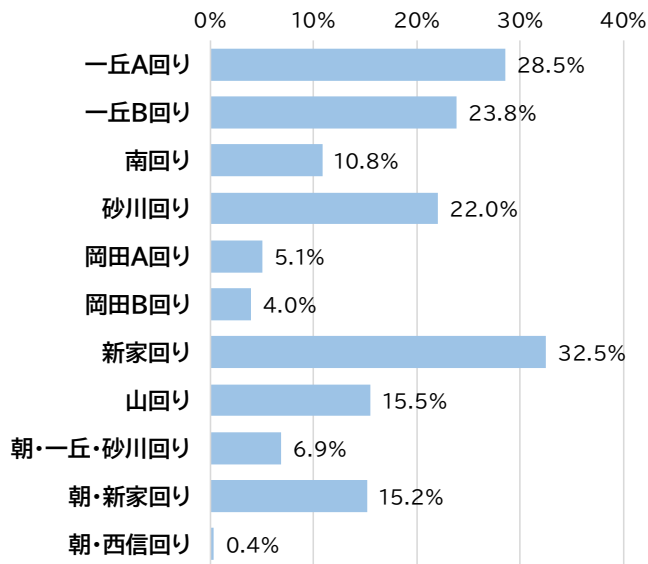


(5) 最もよく使う「さわやかバス」について

・最もよく使う路線

●このアンケートの回答者(ほとんど利用しないという人を除く)が、最もよく使う路線は、「新家回り」が最も多く、次いで「一丘 A 回り」、「一丘 B 回り」、「砂川回り」などが多くなっています。

最もよく使う路線



・最もよく使うバス停

●最もよく使う行先側のバス停は、イオンモールりんくう泉南が突出して多くなっています。その他では、主に鉄道駅や公共施設の最寄り停留所が多くなっています。

【利用が多い目的地側の停留所（上位）】

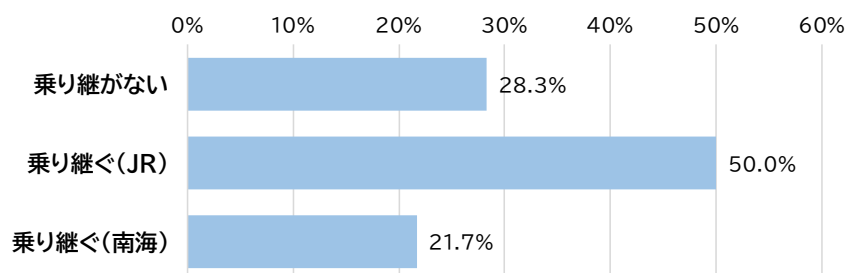
(*この設問は記述式であり無回答や不明な回答が多数ありました。)

- ・イオンモールりんくう泉南（特に多い）
- ・砂川駅前
- ・泉南市役所前
- ・総合福祉センター
- ・樽井駅前
- ・JR 新家駅前
- ・図書館文化ホール前
- ・東小学校前
- ・砂川北
- ・砂川駅前通り
- ・西信達公民館

・鉄道への乗り継ぎ

- 最もよく乗降する行先側の停留所が鉄道駅である回答者に、鉄道への乗り継ぎの有無をたずねたところ、乗り継ぐ人が多い一方、乗り継がない人も約3割を占めており、駅ではなく近傍の施設等の利用が目的である人もいる状況と見受けられます。

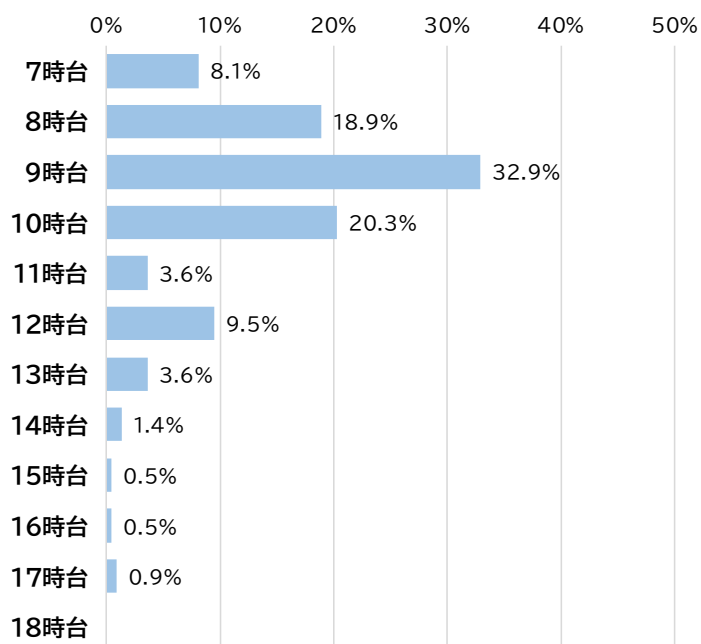
鉄道への乗り継ぎの有無 (*最もよく乗降する行先側のバス停が鉄道駅の回答者について集計)



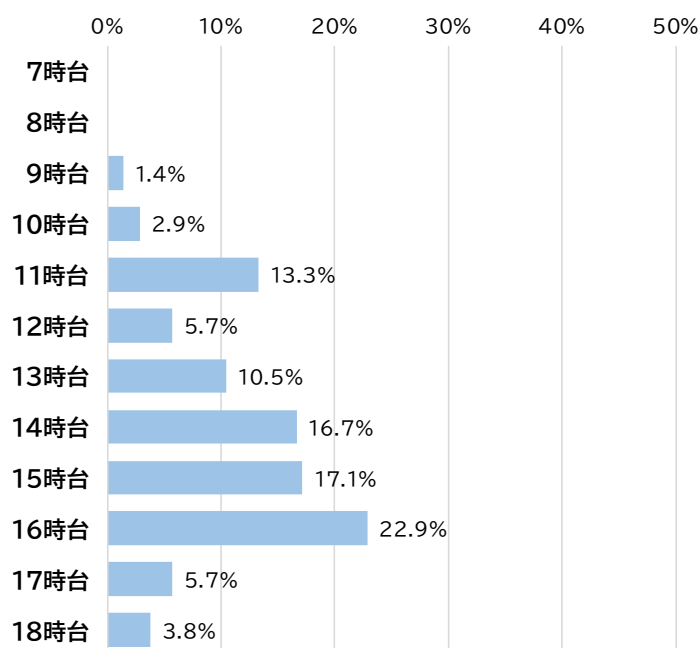
・利用する時間帯

- 「さわやかバス」を最も利用する時間帯については、行きは 8～10 時台等の午前が中心、帰りは 14～16 時台等の午後が中心となっています。

さわやかバスを最もよく利用する時間帯(行き)



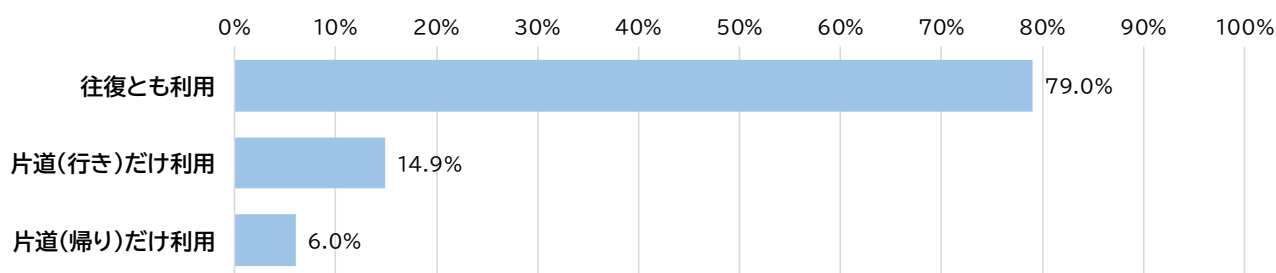
さわやかバスを最もよく利用する時間帯(帰り)



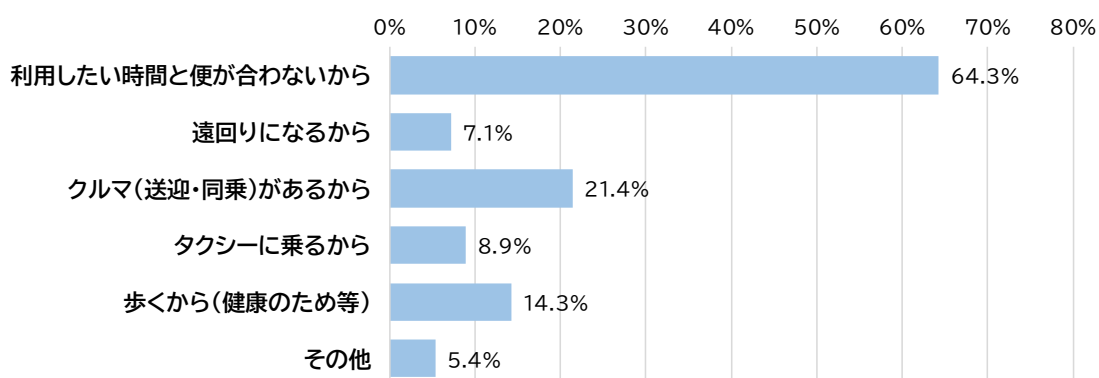
・往復利用の有無

- さわやかバスの利用の際、往復とも利用するという人が大半であり、片道だけ利用するという人は少数となっています。
- 片道だけ利用するという人の理由は、「利用したい時間と便が合わない」が最も多く、次いで「クルマ(送迎・同乗)があるから」が多くなっています。(これらはいずれも、クルマなどバス以外の手段がある人の回答であるものと推察されます。)

さわやかバスの往復利用の有無



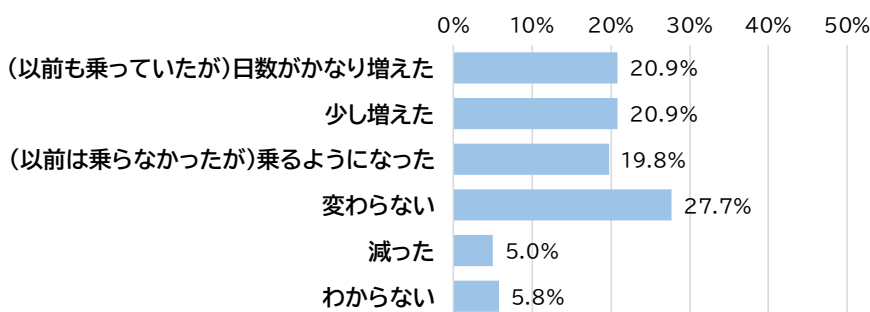
片道だけ利用する理由 (* 片道だけ利用する回答者について集計)



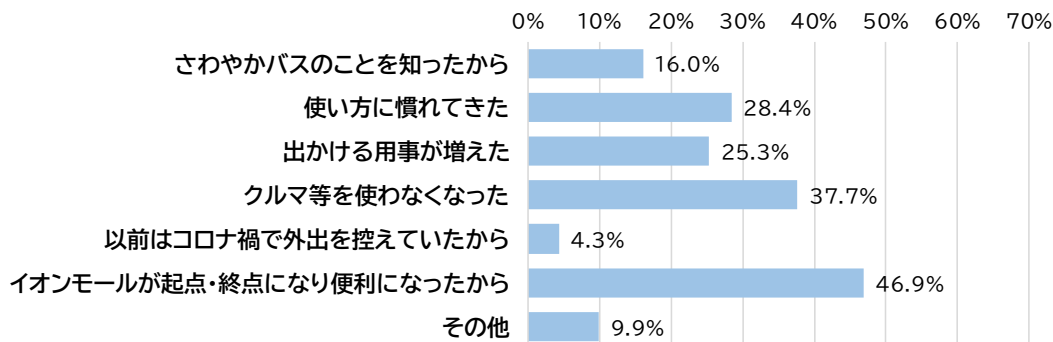
(6) 3年前からの利用日数の変化について

- さわやかバスが、3年前に現在の運行ダイヤになった以降の、利用日数の変化をたずねたところ、増えたという人が計6割程度おられます。一方、変わらないという人が約3割で最も多くなっています。
- 増えた人の理由は、「イオンモールが起点・終点になったから」が最も多くなっています。その他では、「クルマ等を使わなくなった」、「慣れてきた」、「出かける用事が増えた」という理由も多くなっています。

現行ダイヤとなってからの、さわやかバス利用日数の変化



さわやかバスの利用が増えた理由 (* 利用が増えた、または乗るようになった回答者について集計)

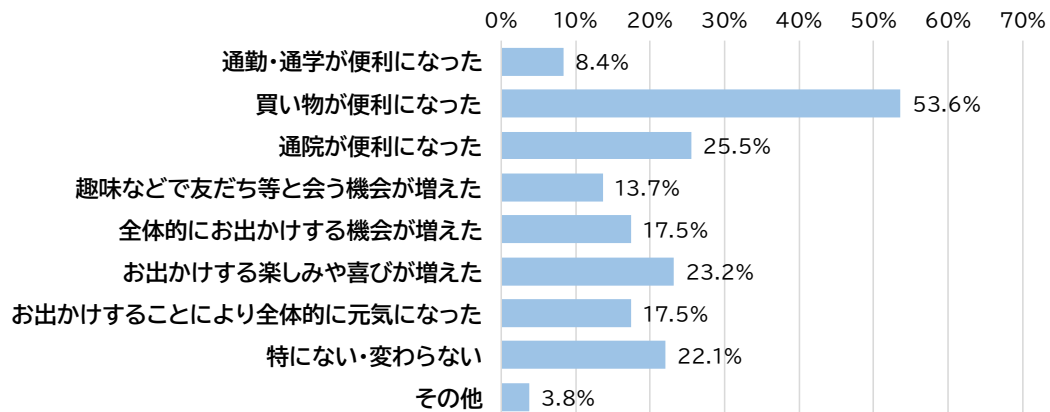


(7) 「さわやかバス」を利用し始めたことによる暮らしの変化について

●さわやかバスの利用による暮らしの変化について、「買い物が便利になった」という人が半数程度で最も多く、次いで「通院が便利になった」、「お出かけする楽しみや喜びが増えた」等が多くなっています。

一方、「特にない・変わらない」という人も2割程度おられます。

さわやかバスの利用による暮らしの変化

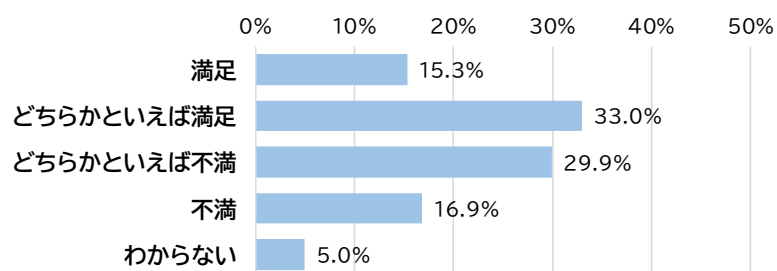


3-3 「さわやかバス」についての考え

(1) 「さわやかバス」の満足度について

- さわやかバスの全体的な満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」との回答と、「不満」「どちらかといえば不満」との回答が同程度となっています。

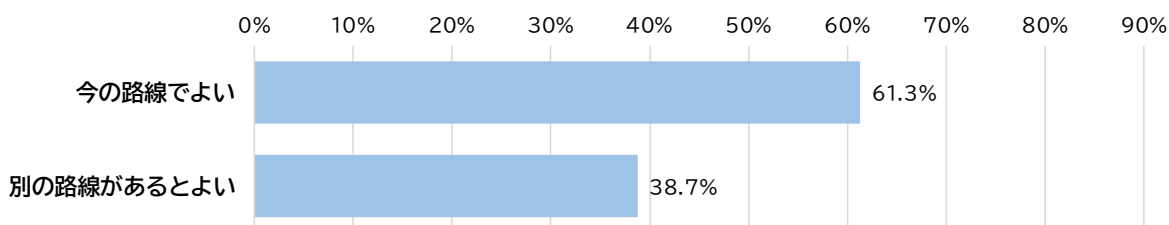
さわやかバスの全体的な満足度



(2) 「さわやかバス」への希望について

- 路線については、今の路線でよいという人が約6割を占めています。「別の路線があるとよい」という人は約4割です。
- 便数については、「便数を増やしてほしい」という人が、約8割を占めています。(便数に関しては、多ければ多いほどよいという意図での回答もあると想定されます。)
- 運行時間帯については、「今の時間帯でよい」という人が4割弱、「もっと短くてもよい」という人も2割弱おられます。(これらは、現在の運行時間帯で十分であるという意見です。)一方、早い時間帯、遅い時間帯を希望する人はそれぞれ1~2割程度となっています。

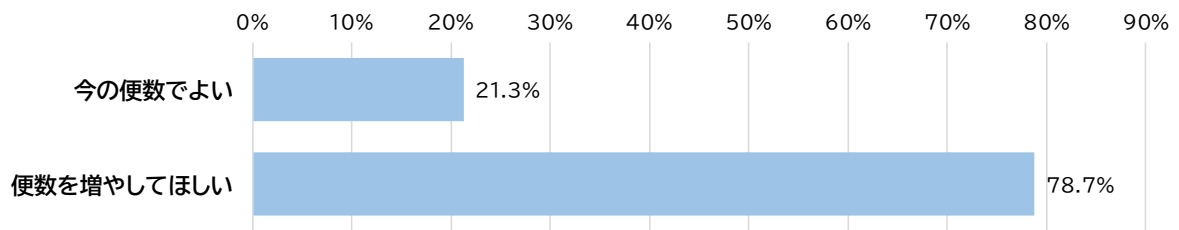
路線についてのお考え



(参考) 具体的な記述のあった主な行先 (記述した回答者は少数)

- ・新家駅 (多数)
- ・図書館、文化ホール
- ・吉見ノ里駅
- ・デイリーカーナート新家店 等

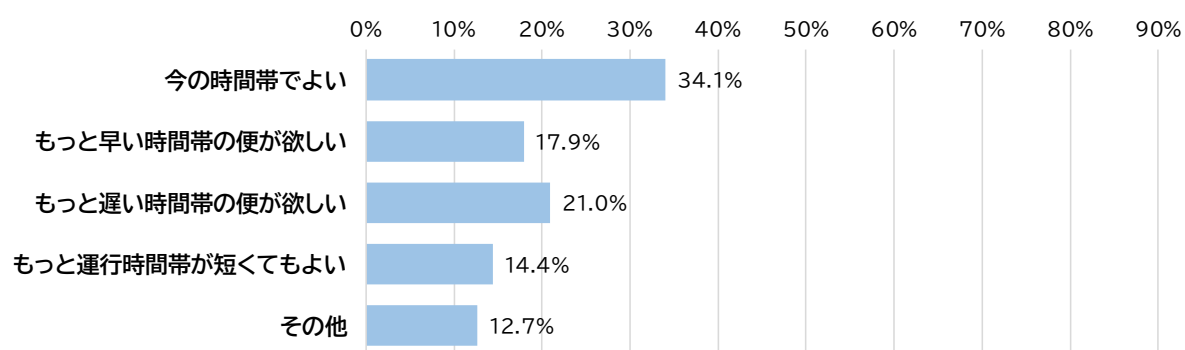
便数についてのお考え



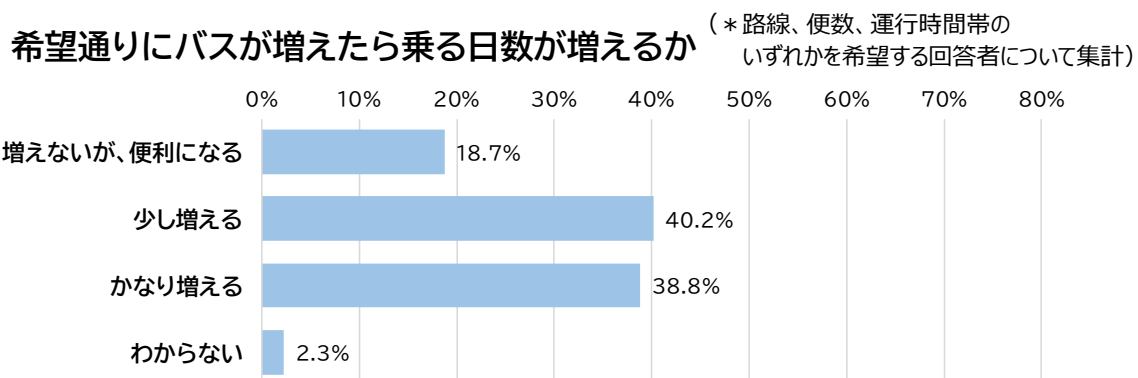
(参考) 具体的な記述のあった主な路線、時間帯 (記述した回答者は少数)

- ・新家回り (13 時台を中心に多数)
- ・一丘 A、B 回り (13 時台を中心に多数)
- ・砂川回り (各時間帯)
- ・山回り (13 時台を中心とした各時間帯) 等

運行時間帯についてのお考え



●路線、便数、運行時間帯のいずれかを希望した人に、希望が実現した場合の利用意向をたずねたところ、「かなり増える」という人は4割弱にとどまっており、「少し増える」、「増えない」、「わからない」が、計6割程度を占めています。

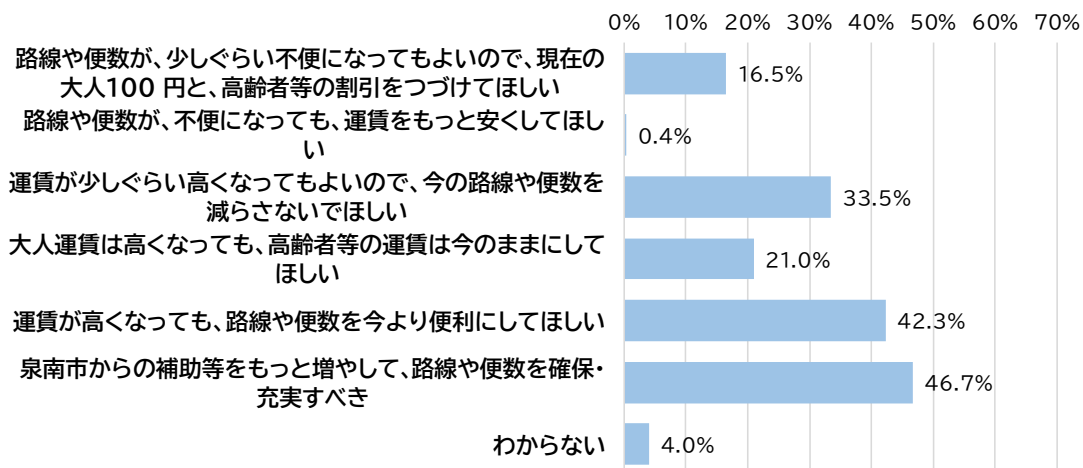


(3) 「さわやかバス」に関する今後の考えについて

・収支状況について

●さわやかバスが、運賃収入だけでは運行経費をまかなえず、市が補助金を交付している現状に関して、考えをたずねたところ、「市の補助等を増やして、確保・充実すべき」、「高くなっても、便利にしてほしい」との回答が多くなっていますが、いずれも半数以下です。その他にも様々な考えがある状況ですが、「不便なっても、安くしてほしい」との回答は僅少です。

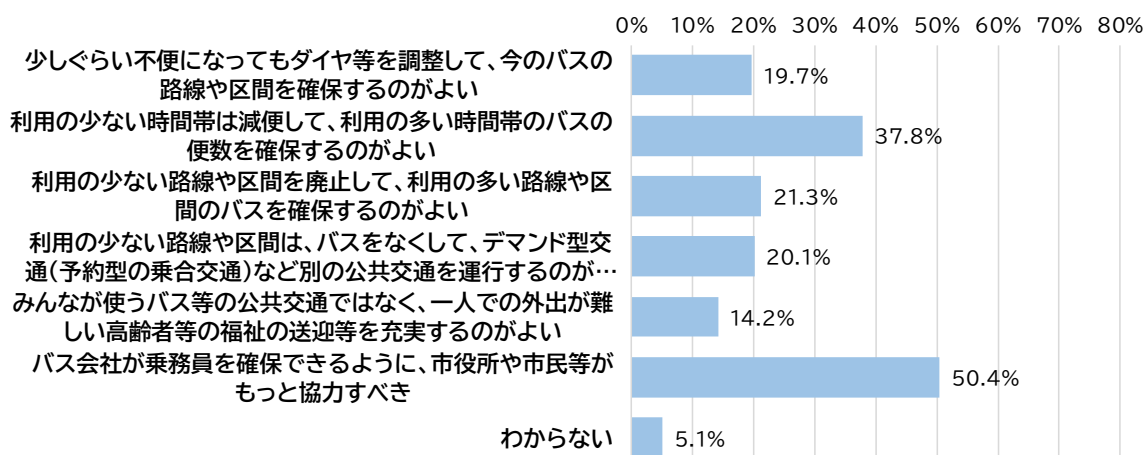
運行経費をとりまく現状に関するお考え



・バスの乗務員不足について

- 全国的に乗務員不足が深刻になっており、減便、廃止となる路線がある現状に関して、考えをたずねたところ、「乗務員を確保できるように、市役所や市民等がもっと協力すべき」、次いで「利用の少ない時間帯は減便して、利用の多い時間帯のバスの便数を確保するのがよい」との回答が多くなっていますが、いずれも半数以下です。その他にも様々な考えがあります。

乗務員不足をとりまく現状に関するお考え



(その他、具体的な記述のあった主な内容) * 記述した回答者は半数程度でした。

- ・バスの便数を増やしてほしい (多数)
- ・バスの方面についての要望
- ・停留所設置についての要望
- ・バスの混雑について
- ・目的地まで時間がかかる
- ・デマンド型交通や乗合タクシーなど、別の公共交通がほしい
- ・運転手の対応について 等